

## ◆自己申請のやり方及び不備・否認・再申請について◆

- ① 自己申請のやり方
- ② 自己申請における審査基準について
- ③ 自己申請における不備・否認・再申請について

### ① 自己申請のやり方

#### 【自己申請前の確認事項】

初めに「細則別紙1 BSI J-CPDの分類と単位」で詳細を確認

形態	主な内容
参加学習型：	講習会（一般講習等・講演会・シンポジウム等）、 見学会（見学会・海外調査等・e-ラーニング・協会主催）
情報提供型：	講師、論文等発表、社会貢献活動
技術協力型：	執筆活動、委員会活動、論文等審査、査読
自己学習型：	専門雑誌購読、専門図書による勉学、e-ラーニング講座（他団体主催の講座受講） 協会会誌「建築と積算」掲載のCPD認定記事による学習

#### 注)

自己申請における受講時間・見学時間・担当時間等の入力時間の申請は、  
1日コースであればその日時、**複数日にまたがるコースであれば1日毎に行なう。**  
(細則別紙1 BSI J-CPDシステムの分類と単位)・・・参照

#### 【否認する場合主な理由】

- (1) 懇親やレクリエーションを目的とするもの。
- (2) 上記別表1に当てはまらないもの。
- (3) 特定の商品、材料、コンピュータソフト等の宣伝・販売等を目的とするもの。  
(ただし、前述の部分を除いた、CPDの目的に適合する内容についての時間に限り承認することができる。)
- (4) マナー等の社会人教育と判断されるもの。
- (5) その他、本会CPD制度の目的にそぐわないと判断されたもの。

注) 自己申請する前に、上記の記載事項から逸脱していないか確認し、自己申請を行う。

※ 認定されたプログラムは、自己申請する必要はありません。主催者より出席者名簿が提出され、システム上で処理される。

# 【システムログイン手順】

## 【BSIJ-CPD情報システム】 画面

**BSIJ-CPD情報システム**

CPD情報システムでご利用いただけるメニューの一覧です。

▶▶▶ 認定プログラム一覧

現在認定されているプログラム情報の一覧はこちらをご覧ください。  
建築士会CPDに登録している共通認定プログラムは[こちら](#)をご覧ください。

▶▶▶ システムログイン

既に参加登録されている方はこちらから

(2014-05-27)  
参加者の利便を図るため、5月30日よりCPDシステムへのログインは12桁のユーザIDに替わり、**建築コスト管理士・建築積算士及び会員のいずれかの登録番号でログインする事**に変更いたします。また、講習会等の参加につきましても、資格などの登録番号の記載だけとします。  
(2012-07-01)  
2012年度よりBSIJ-CPDシステムの制度が改正されていますので[協会HPお知らせ](#)でご確認ください

## 【共通メニュー】 画面

**BSIJ-CPD情報システム** 参加者用  
ログアウト

ご利用いただけるメニューの一覧です。

**共通メニュー**

▶▶▶ 認定プログラム一覧

現在認定されているプログラム情報の一覧はこちらをご覧ください。  
建築士会CPDに登録している共通認定プログラムは[こちら](#)をご覧ください。

▶▶▶ 登録情報の変更

ログインパスワードの変更はこちらから

**BSIJ 用メニュー**

▶▶▶ 取得単位数確認

現在、取得している単位数の確認はこちらから認定プログラムによる取得単位数はプロバイダーより出席者名簿が提出されたものに準じます

▶▶▶ 自己申請

自己申請はこちらから協会の認定プログラム(各支部および他団体)は、自己申請の必要がありません。  
出席者名簿により確認され単位数が自動的に付与されます。付与されていない場合には、下記にお問合せください。

▶▶▶ 実務実績申請

実務実績申請はこちらから実務実績の申請は2011年度の実績までです。以後の年度は廃止されています。

## 【入力】 画面

**BSIJ-CPD情報システム** 参加者用

**CPD情報システムログイン**

ログインを行います。  
参加には、登録が必要となります。  
登録がお済みでない方は、[こちらで参加登録](#)してください。  
ログインパスワードを忘れた方は、[こちらで変更](#)してください。

**ログインが必要です**

登録番号とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

登録番号

建築コスト管理士番号

パスワード

『自己申請』  
クリック

入力が済んだら **ログイン** をクリック

① ▼をクリックし該当資格を選択  
(建築コスト管理士・建築積算士・建築積算士補・会員)

- ② 登録番号入力
- ・ 建築コスト管理士番号
  - ・ 建築積算士番号
  - ・ 建築積算士補番号
  - ・ 積算協会会員番号

③ パスワード入力

## 自己申請をする手順（記入例）

**BSIJ-CPD情報システム**
参加者用

[認定プログラム一覧](#)
[取得単位数確認](#)
[自己申請](#)
[実務実績申請](#)
[登録情報の変更](#)
[ログアウト](#)

**自己申請**

自己申請を行います。  
申請に際し以下の研修情報を入力してください。

「別表-1BSIJ-CPD分類と単位について」(PDF)の閲覧ができます。  
 研修年月日が2012年3月31日以前の場合 [旧規定「～2012年3月31日」](#)  
 研修年月日が2012年4月1日以降の場合 [新規定「2012年4月1日～」](#)

**自己申請基本情報入力**

\*印の項目は必ず記入のこと。 ※最初に必ず研修年月日を入力してください。

申請年月日: 2014年9月9日      ユーザーID:

申請先制度:  日本建築積算協会

氏名:

研修年月日: 2014年09月05日 17:00～  
2014年09月05日 19:00～迄

形態:  [04] 講演会・シンポジウム  
該当するものを選択してください。 その際は、[番号]で始まる説明を選択します。

企業内研修会である     企業内研修会ではない

分野:  [06] 空調  
該当するものを選択してください。 その際は、[番号]で始まる説明を選択します。

**自己申請内容**

申請するプログラムの形態によって記入欄に記入する内容が異なります。 記入する際の注意事項

プログラム名:

主催:

内容 (10文字以上30文字以内):

修得した内容 (10文字以上180文字以内):

研修時間: 2 1.0 時間

審査の過程でプログラム実施を証明する書類の提出を求めますので、講習会受講証、シンポジウム参加証や論文の写し等は保管しておくようにしてください。

申請を終了し、トップページへ戻ります。

### ※ 自己申請おける留意点

- 1) 申請先制度欄をクリックをつける。
  - 2) 研修年月日を設定する。
  - 3) 形態の選択  
右端をクリックして該当項目を選定  
※番号付を選ぶ
  - 4) 分野の選択  
右端をクリックして該当項目を選定  
※番号付を選ぶ
  - 5) プログラム名欄  
(認定記事以外)
    - 主たるプロジェクト名
    - 購読した雑誌名 ※守秘義務の場合は略称可
 (建築と積算認定記事)  
 ○発行年季・・・何年、何季、認定記事名・・・全文
  - 6) 主催  
主催者名・・・※守秘義務の場合は略称可  
雑誌等の出版社名
  - 7) 内容  
どのような内容が具体的に記述
  - 8) 習得した内容  
研修・購読等で得た内容を具体的に記述
  - 9) 研修時間  
上記2)との整合性を確認する。
- 注) 午前から午後にもたがる研修の場合昼の休憩時間は除く。**

### 注)

- ・研修時間の入力、上段で入力した時間帯合わせ入力する。
- ・申請は曜日毎に行う。 曜日のまたがった申請は不可 (HP掲載別表-1 下段記述参照)
- ・研修時間との整合性をチェック、確認する。

## 【自己申請情報確認】画面

BSIJ-CPD情報システム		参加者用
認定プログラム一覧		取得単位数確認
自己申請		実務実績申請
登録情報の変更		ログアウト

### 自己申請

自己申請の内容の確認を行います。  
入力情報に誤りが無いか確認してください。  
誤りがある場合はこのページ下部にある「戻る」ボタンをクリックして入力画面にお戻り下さい。  
\*WEBブラウザの「戻る」ボタンで入力画面にお戻り頂いた場合は正常に申請が出来ません。

### 自己申請情報確認

申請年月日	<input type="text"/>	ユーザーID	<input type="text"/>
申請先制度	[ 日本建築積算協会 ]		
氏名	<input type="text"/>		
研修年月日	2014年09月05日 17:00～ 2014年09月05日 19:00迄		
形態	講演会・シンポジウム 企業内研修会ではない		
分野	空調		

自己申請内容

プログラム名	理想的な空調システム
主催	ABC設備協会
内容	理想的な空調システム (10文字以上30文字以内)
修得した内容 (10文字以上 180文字以内)	建築物の用途・規模は種々雑多である。 如何に機能を高めコストを押さえるかについて 大変有意義なシンポジウムであった。
研修時間	2 時間

自己申請基本情報入力ページへ戻ります。

**注)**  
入力に間違いがないか確認し申請する。

## ② 自己申請における審査基準

### 「建築と積算」認定記事申請における留意点

### 「認定記事以外の自己申請」における留意点

#### 継続能力開発（CPD）制度規程

（目的）

第2条 このCPD制度は、建築積算・コスト管理技術者が自らの業務遂行能力とそれに必要な専門技術能力の継続的向上を目指す自己啓発行為を支援することにより、建築積算・コスト管理技術者の技術的水準及び資質の維持・向上を図ることを目的とする。

認定された記事を正確に記載することは、建築コスト管理士としての資格条件と言える。何故ならば、顧客に対し物事を正確に伝える一環として位置づけている。

### 「建築と積算」認定記事申請における留意点

1) プログラム名欄記入項目	
・ 建築と積算	} 承認必須(3項目)
・ 何年何月号(例:2016年新春号)	
・ 正確な認定記事名(全文)	
(ホーム・ページ認定記事一覧参照)	
2) 主催者は(公社)日本建築積算協会	
3) 研修時間は1時間	
4) 取得単位:1単位/1記事	
	注) 同一記事の再申請は不可

#### ◆ 主な不備・否認理由

	項目	不備	否認	理由
1	申請先にクリックがない	○		申請先制度にクリックが必要
2	購読雑誌名の未記載	○		雑誌名の記載は重要・・・建築と積算
3	発行季が未記載	○		雑誌名は正しいが発行季が記載されていない
4	発行季の間違い	○		認定記事名は正しいが発行季が違う
5	記事名が不正確	○		認定記事名通り記載されていない
6	記事名が全文記載無し	○		認定記事名通り記載されていない
7	文字化けしている	○		認定記事名の一部が文字化けしている
8	二重に申請(ダブリ)		○	同一認定記事を再び申請している
9	申請時間の誤り	○		【細則別紙1 BSI J-CPDシステムの分類と単位】 協会会誌「建築と積算」掲載のCPD認定記事による 学習は 「1時間/1記事」
10	発行年季に該当なし	○		発行年季の誤り
11	まとめて申請	○		他の発行季の記事を羅列



## 「認定記事以外の自己申請」における留意点

### 【否認とする主な内容】

- (1) 懇親やレクリエーションを目的とするもの。
- (2) 上記別表1に当てはまらないもの。
- (3) 特定の商品、材料、コンピュータソフト等の宣伝・販売等を目的とするもの。  
(ただし、前述の部分を除いた、CPDの目的に適合する内容についての時間に限り承認することができる。)
- (4) マナー等の社会人教育と判断されるもの。
- (5) その他、本会CPD制度の目的にそぐわないと判断されたもの。

### ◆ 主な不備及び否認項目

	項 目	不備	否認	理 由
1	申請先にクリックがない	○		申請先制度にクリックが必要
2	研修年月日と申請時間の違い	○		研修年月日と申請研修時間が合致しない
3	研修が午前から午後継続した場合	○		昼の休憩時間は除く 【細則別紙1 BSI J-CPDシステムの分類と単位】・・・下段参照
4	形態の選定が違う場合	○		プログラム名及び記載内容と違う
5	分野の選定が違う場合	○		プログラム名及び記載内容と違う
6	プログラム名が不明確の場合	○		プログラム名は明確に記載する (守秘義務が有りの場合略称でも可とする)
7	具体的に主催者名が記載されていない場合	○		主催者名は明確に記載する (守秘義務が有りの場合略称でも可とする)
8	CPD認定プログラムを自己申請した場合		○	当協会が認定したプログラムは自己申請は不可 主催者から出された出席者名簿の確認の要あり
9	複数日にまたがる申請	○		別表1 BSI J-CPDシステムの分類と単位(2012年4月1日以降に適用)・・・(下段参照) 自己申請における受講時間・見学時間・担当時間等の入力時間の申請は、1日コースであればその日時、複数日にまたがるコースであれば1日毎に行なう。
10	他の申請プログラムと研修時間帯のダブリ	○		別々の申請とで研修時間が重なっている
11	講師 大学、専門学校等の講師で申請した場合	○		別表1 BSI J-CPDシステムの分類と単位(2012年4月1日以降に適用)で下記の規定を掲載 専任教職員とは本人が大学、高校、専門校等に席を置き(教授・准教授・非常勤等)、学生相手に講義等を行う人を指す。ただし、所属している以外の他団体で講義を行った場合は、単位の修得は可能とする。 ※上記の基準に該当なき場合は不備とする。

	項 目	不備	否認	理 由
12	社会貢献 専門知識・技術を生かした社会貢献活動	○		別表1 BSI J-CPDシステムの分類と単位（2012年4月1日以降に適用）で下記の規定を掲載 公共性のあるものに限る（例＝災害支援、建設工事紛争審査会への協力、調停委員、鑑定人、その他ボランティア活動） ※上記の基準に該当なき場合は不備とする。



### ③ ■ 自己申請における不備・否認・再申請について ■

#### 凡例

- ◆ 自己申請承認の場合 . . . . . 申請を承認
- ◆ 審査待ち . . . . . 事務局の審査待
- ◆ 申請に不備があった場合 . . . . . 申請内容に不備が有り
- ◆ 申請が否認された場合 . . . . . 申請内容が不適切

#### ※ 申請内容に不備があった場合の処理手順

- ①の画面にて不備となったプログラムを開く
- ②の画面で不備内容が記述・確認の上修正する
- ③の画面にて修正部分を確認 . . . 再申請

#### ※ 申請が否認された場合

- ①の画面にて否認となったプログラムを開く
- ②の画面で否認内容が記述 . . 再申請は不可

### ① 審査待ち・不備・否認とされたプログラム一覧

■審査待ちの自己申請 [新しいプログラムから5件を表示しています。]

プログラムID	申請日	プログラム名	時間	状態
00079702	2019年1月9日	建築と積算2016年春号 実録7/10/11さいはてのCMr CM説明	1	
00079705	2019年1月9日	建築と積算2016年秋号積女 家行の年日本一休みの多い積算事務所を創る	1	
00079708	2019年1月9日	建築と積算2016年PAQS2016国際会議教育委員近未来の日本の積算技術への期待会	1	
00079767	2019年1月9日	建築と積算2017年新春 女性技術者の動向多くの女性が積算で活躍されていることを実感	1	
00079773	2019年1月9日	建築と積算2017年秋 PAQS2017国際会議PAQS 2017年に参加して	1	

5件以上の審査待ちの自己申請を見る場合はこちらから

### ② 不備・否認内容確認 画面

自己申請(再申請)を行います。  
再申請に際し以下の自己申請基本情報で不備と指摘された部分を再入力してください。

自己申請基本情報入力

認定記事名は、正確な認定記事名(全文)を書きましよう。(承認の必須条件)  
HPから「CPDについて」をクリックし、「会費CPD認定記事一覧」をクリックし、画面最上段に赤字にて記述されている注意事項及び記述例をご確認ください。

\*印のついている項目は必ず記入してください。 ※最初必ず研修年月日を入力してください。

プログラムID 00079702  
再申請年月日 2019年1月10日 ユーザーID

申請先制度  日本建築積算協会  
氏名

\* 研修年月日  
2016年 04月 06日 10:00 ~ 2016年 04月 06日 13:00迄

\* 形態  
 CPD認定記事による学習  
該当するものを選択してください。その際は、[番号]で始まる説明を選択します。

企業内研修会である  企業内研修会ではない

\* 分野  
 (16) コスト管理  
該当するものを選択してください。その際は、[番号]で始まる説明を選択します。

自己申請内容

申請するプログラムの形態によって記入欄に記入する内容が異なります。 **記入する際の注意事項**

\* プログラム名 建築と積算2016年春号 実録7/10/11さいはてのCMr  
\* 主催 日本積算協会  
\* 内容 (10文字以上30文字以内) さいはてのCMr CM説明

\* 修得した内容 (10文字以上180文字以内) コストラクションマネジメントについて役割、業務内容について学習いたしました

\* 研修時間 1 00 時間

審査の過程でプログラム実施を証明する書類の提出を求め場合がありますので、講習会受講証、シンポジウム参加証や論文の写し等は保管しておくようにしてください。

再申請を終了し、ウィンドウを閉じます。

不備・否認内容がここに記載

不備・否認の内容を確認する場合、表示されたプログラムをクリックする。

### ④ 修正後の再申請確認 画面

自己申請(再申請)の内容の確認を行います。  
入力情報に誤りが無いか確認してください。  
誤りがある場合は「戻る」ボタンをクリックして入力画面にお戻り下さい。

自己申請再申請情報確認

プログラムID 00079702  
再申請年月日 2019年1月10日 ユーザーID

申請先制度  
氏名

研修年月日 2016年04月06日 10:00 ~ 2016年04月06日 13:00迄

形態 CPD認定記事による学習  
企業内研修会ではない

分野 コスト管理

自己申請内容

プログラム名 建築と積算2016年春号 実録7/10/11さいはてのCMr CM説明  
主催 日本積算協会  
内容 (10文字以上30文字以内) さいはてのCMr CM説明

修得した内容 (10文字以上180文字以内) コストラクションマネジメントについて役割、業務内容について学習いたしました

研修時間 1 時間

自己申請基本情報再入力ページへ戻ります。

- ③ 上記のプログラムを再申請する場合  
 をクリックし指摘内容を修正する。

入力に間違いがないか確認し再申請する。